

## 主題：命の木

メッセージ2

### 命の福音の序章——神の言としてのキリストの歴史

聖書・ 1:1, 3-5, 14, 16-18, 29, 32, 42, 51

- I. ヨハネ第1章は、ヨハネによる福音書、命の福音全体の導入であり、この導入のおもな強調点は、キリストが神の言、命の言である、すなわち、奥義的で見えない神の定義、説明、表現であるということです——1節。参照、I ヨハネ1:1-2：
- A. 神の言としてのキリストは、偉大な「わたしはある」であり、自ら存在し、永遠に存在します。彼は永遠の方であり、初めもなく終わりもありません——出 3:14-15. ヨハネ 8:24, 28, 58. ヘブル 7:3。
- B. ヨハネ第 1 章が言及しているのは、永遠と時間の架け橋という二つの区分を伴う、宇宙の歴史における五つの偉大な出来事、すなわち、創造、肉体と成ること、贖い、油塗り、建造におけるキリストです——参照、詩 90:1-2. ミカ 5:2。
1. ヨハネ第 1 章は、ヨハネによる福音書全体の序章として、過去の永遠において言としての、「旅をする」三一の神のエキスであり、究極的に将来の永遠において新エルサレムとなります——1, 4-5, 51 節。
2. ヨハネ第 1 章が結晶の方法で示しているのは、永遠の言が時間の架け橋を越えて彼の創造の働きと旅において肉体と成り、彼の法理的な贖いを完成し、油塗る、命を与える、造り変える霊と成って、ご自身の有機的な救いを遂行することであり、究極的に彼の再生され、造り変えられ、栄光化された花嫁と完全に結合され、ミングリングされ、合併されて、新エルサレム、究極のベテル、神と人との相互の住まいとなること —— 参照、1 節. 10:35. エペソ 6:17. ヨハネ 6:63。
- C. これら五つの宇宙的で歴史的な出来事において、神の言であるキリストは、(1. 創造における創造主、2. 肉体に成ることにおいてわたしたちの間に幕屋を張った人、3. 贖いにおける小羊、4. 造り変えにおける油塗る霊、5. 神の建造のために地を天に結びつけるはしごとして) 見えない神を定義し、説明し、表現しました——参照、1 節. 10:35. エペソ 6:17. ヨハネ 6:63。
- II. キリストは神の言として、創造を通して神に代わって語りました——1:3：
- A. 「天は神の栄光を語り告げ、大空は御手のわざを告げ知らせる。昼は昼に言葉を出し、夜は夜に知識を告げる。話もなく、言葉もなく、その声も聞かれない」——詩 19:1-3。
- B. 「神の見えない永遠の力と神性の特徴は、世界が創造されて以来、明らかに見られており、造られた物によって認められているので、彼らには弁解の余地がありません」——ローマ 1:20。
- C. 使徒行伝第 14 章 15 節から 17 節と第 17 章 24 節から 29 節において言及されていることは、キリストの創造が神に代わって語ることを啓示するという同じ目的を果たします——参照、ヘブル 11:3. 1:2. コロサイ 1:15-17. ハガイ 2:7。

Ⅲ. キリストは神の言として、肉体と成って神の幕屋となることを通して、神に代わって語り  
ます——ヨハネ1:14:

- A. 言は肉体と成ることによって、神を人性の中へともたらしただけではなく、神にとって地上における人の間にある神の住まいとしての幕屋となって、恵みと実際に満ちていました:
1. 律法は、神が何であるかにしたがって人に要求します。恵みは神が何であるかを人に供給して、神が要求することを満たします—— 17 節。
  2. 「わたしたちはみな、彼の豊満から、恵みの上にさらに恵みを受けた」—— 16 節。
- B. 彼は肉体と成ることを通して三一の神の具体化となり、神を人にもたらし、神を接触することができ、触れることができ、受け入れることができ、経験することができ、入ることができ、享受することができる方にしました。
- C. 彼は神・人となり、神性を人性の中へともたらし、神性と人性とをミングリングしました。
- D. 神のひとり子が肉と成ることはまた、言において、命において、光において、恵みにおいて、実際において、神を人に明らかに示す（説明する）ことでした—— 18 節。
1. 言とは、表現され、説明され、定義された神であり、それによって人は神を理解します。
  2. 命とは、分け与えられる神であり、それによって人は神を受け入れます。
  3. 光とは、輝く神であり、それによって人は照らされて神にあずかります。
  4. 恵みとは、人によって享受される神であり、それによって人は神の豊富にあずかります。
  5. 実際とは、人によって実際化される神であり、それによって人は神を会得し、知ります。

Ⅳ. キリストは神の言として、彼が神の小羊となって贖うことを通して、神に代わって語り  
ました:

- A. キリストは神の小羊となって失われた世の人を贖うことにおいて、神が彼の義にした  
がった手順としての彼の死を通して、どのように法理的に彼の贖いを完成したかをわ  
たしたちに語ります。
- B. 神の小羊が表徴するのは、肉体にある言が旧約のすべてのささげ物の成就として神の  
完全な贖いを完成したということです——ヘブル 10:5-10。
1. キリストは罪のためのささげ物、違反のためのささげ物、全焼のささげ物、穀物の  
ささげ物、平安のささげ物、揺り動かすささげ物、挙げるささげ物、注ぎのささげ  
物の実際です。
  2. すべてのささげ物としてのキリストと共に、神の完全な贖いがあり、わたしたちは  
この贖いを経験し、享受します。

Ⅴ. キリストは神の言として、彼が油塗る霊と成って神の贖われた民を石へと造り変え（ヨ  
ハネ 1:32-42）、新約のための神の家（ベテル——51節）を有機的に建造します:

- A. キリストは油塗る、命を与える、造り変える霊（I コリント 15:45）と成ることにおい  
て、神がご自身の心の願いにしたがって、彼の神聖な目的のために、彼の神聖な命に

- よってどのように彼のエコノミーを有機的に遂行するかをさらにわたしたちに語りま  
す。
- B. わたしたちは注意深くなって、わたしたちの日常生活におけるどんなこともわたした  
ちの霊の中の油塗る霊としてのキリストを置き換えることを許さない必要があります  
—— I ヨハネ 2:20, 27。
1. キリストは油塗られた方であり、油塗る方また油塗りとなりました。反キリストの  
原則に生きることは、反油塗りであることです（「反」は「反対する」、「代理に」、「代  
わりに」を意味します）—— 18, 22 節. 4:3. II ヨハネ 7 節。
  2. 反キリストであることは、キリストに反対し、キリストを他のものに置き換えるこ  
とです。
  3. もしわたしたちがキリストを自分自身の振る舞いや性格からのものに置き換えるな  
ら、特定の事柄にキリストご自身を置き換えさせるという意味において、反キリス  
トの原則にあずかっているのです——参照、ピリピ 1:21. 4:4-9。

© 2016 Living Stream Ministry